

第30回 ハイライフセミナー

超高齢社会の 生き方のヒント



超高齢社会である日本。特に人口のボリュームゾーンである団塊の世代の高齢化とともに、様々な問題・社会不安といった情報を目にするが多くなっています。個人のレベルにおきましては「健康寿命」という言葉に象徴される課題に注目が集まっています。

ところが、一般的に超高齢社会に関する研究や取り組みが紹介されることは少なく、中々考えるきっかけがありません。

そこで本セミナーにおいては、高齢者に関する研究や取り組みを紹介することで、何らかのヒントが得られる機会を提供し、広く公益に繋げたいと考えました。

今回の登壇者は、全く異なる立場から研究を行っております。今機会を通じて是非多くの方に知っていただき、引き続き注目していただけますことを期待したいと考えております。



日時

2018年3月5日(月) 13:30~17:00 (開場 13:00)

会場

慶應義塾大学 三田キャンパス東館6階 G-Lab

<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>

※慶應義塾大学東館へのアクセスは東門をご利用ください。

料金

無料 (事前申し込み: 定員 100名)

共催

公益財団法人ハイライフ研究所

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート (KGRI)



慶應義塾大学



公益財団法人 ハイライフ研究所
Research Institute for High-Life

プログラム

主催者挨拶	13:30	櫻井隆治 公益財団法人ハイライフ研究所 代表理事副理事長
ご紹介	13:45	KGR Iの取り組みについて 駒村圭吾 慶應義塾 常任理事/法学部 教授/グローバルリサーチインスティテュート所長
講演 1	14:00	百寿調査で分かってきた長生きの世界 新井康通 慶應義塾大学 医学部 百寿総合研究センター専任講師
講演 2	14:40	いつまでも若いマインドを持った年配者の消費行動 清水聡 慶應義塾大学 商学部 教授
休憩	15:20	
講演 3	15:30	心理面から健康な加齢にアプローチする 日下菜穂子 同志社女子大学 現代社会学部 教授
講演 4	16:10	次世代高齢者(50代)と高齢者(66~75歳)の老後意識の比較 杉本浩二 公益財団法人ハイライフ研究所 上席研究員
閉会挨拶	16:50	藤原豊 公益財団法人ハイライフ研究所 専務理事



新井康通 (あらい やすみち)

百寿者、超百寿者、超高齢者の疫学調査を通じ、健康長寿のメカニズムを明らかにする研究に取り組んでおります。



清水聡 (しみず あきら)

一括りで「高齢者」を説明できなくなってきている昨今、活動的な高齢者を最新のマーケティング理論から抽出し、その消費傾向を探ります。



日下菜穂子 (くさか なほこ)

年齢を重ねる強みを活かして高齢者が主体になるコミュニティ形成の実践研究を、ワンダフル・エイジング・プロジェクトとして行っています。



杉本浩二 (すぎもと こうじ)

世代・年代の差異等による高齢者の老後意識の違いについての研究に着手しました。興味深い結果から次なる課題についても模索中です。

参加申込み

※会場の収容人数の関係で参加お断りすることもあります。御了承ください。

ハイライフ研究所ホームページにて申し込まれる場合は、下記URLのセミナー申込みフォームからお申し込みください。



URL : <http://www.hilife.or.jp/wordpress/?p=13952>

FAXにて申し込まれる場合は、下記の必要事項をご記入の上、送信ください。

FAX : 03-3563-7987

第30回 ハイライフセミナー 参加申込書			
団体名		所属・役職	
フリガナ 名前		電話	
		FAX	
住所			
メールアドレス			

お問い合わせ

ハイライフ研究所セミナー事務局

電話 : 03-3563-8686